

ファミリーフットサルフェスティバル 2024 山形 in よねざわ

実施要項

【開催趣旨】 家族の触れ合いの場、コミュニティでのスポーツ活動の機会の提供を目指し、親子で参加することのできるファミリーフットサルフェスティバルを開催します。これまでサッカーに親しんだ事が無い人も含めて、より多くの人々がボールを蹴る楽しみを身近に味わえる機会を提供することを目的としています。

1 主催 特定非営利活動法人山形県サッカー協会

2 主管 米沢地区サッカー協会

3 期日 令和6年12月22日(日)

4 会場 川西町体育館 山形県東置賜郡川西町大字中小松 2240-1 電話 0238-46-2277

17:00 集合・受付 18:00 試合開始

※参加チーム数、集合状況により開始時間が変更となる場合があります。

5 参加資格 (1) 選手 大会の主旨を尊重してプレーを楽しむことを第一優先とし、お互いに怪我のないよう努めることができること。

(2) チーム 単一または複数の家族によって構成されるものを基本としますが、親子でなくても大人と子供の混合、または大人を含む女性のみのチーム構成であればOKとします。

8 競技規程(4)特別ルールに記載のメンバー構成とし1チームは最大16名までの登録とします。

(3) 募集クラス

初心者ビギナークラス : 男子経験者(コーチ含む)がおらず、未経験者のみで構成されたチーム

経験者ミドルクラス : 男子経験者またはコーチを含めたメンバーで構成されたチーム

6 競技形式 フェスティバルの趣旨により順位決定は行わない。(参加チーム数に応じて、変更する場合があります。)

7 競技規定 大会実施年度の公益財団法人日本サッカー協会 フットサル競技規則による。

(1)ピッチサイズ 原則幅18m×長さ32m(予定)

(2)試合時間 10分1本のランニングタイム。延長戦なし。

(3)試合球 JFA認定フットサル3号球(主催にて準備します)

(4)特別ルール ①試合中は、ピッチ上の選手5名のうち、13才以上の男性1名。女性1名以上、ならびに12歳以下の選手2名が常時出場していることとします。

②女性だけのチーム構成の場合、大人が1名以上・中学生以上2名以下・他小学生が常時出場していること。指導者を含む場合にはピッチ内への出場は1名までとする。

③女性競技者に対して大人の男性競技者は接触できない。接触した場合には1回目は相手チームに間接フリーキック、2回目以降はPKを与える。但し、そのキッカーはファウルを受けた女性競技者とします。

④得点は、女性および小学6年生以下の選手の得点のみカウントすることにします。

8 持ち物 (1)ユニフォームまたは同一色のTシャツやポロシャツなど、運動しやすい服装で結構です。

そろわない場合はビブスを貸し出します。

(2)シューズ(靴裏が紺・白・透明の体育館シューズ、インドアフットサルシューズでお願いします。)

(3)レガース(すねあて)は必ず着用してください。(貸出用も準備します。)

9 参加申込 別紙参加申込書を開催の6日前までに申込先担当者へ下記方法にて申込みしてください。

(1)下記にある申込QRコードを読み取り専用フォームから必要項目を記入し、お申し込みください。

(2)山形県または米沢地区サッカー協会ホームページより申込書をダウンロードし必要項目を記入のうえ、チーム毎にデータにて受付担当者(特大委員長/熊澤)へ期日までお申し込みください。



データでの申込先 : yfa.kumazawa@gmail.com

QRコード :

10 参加費 無料

11 表彰 参加チームに各賞・参加賞を準備する予定です。

12 組合せ 参加チームに応じて決定し、参加チーム代表者へ通知します。※地区協会HPへも掲載予定

13 傷害補償 傷害保険(対人、対物)には加入しておりません。フェスティバル保険にのみ加入しております。

14 その他 フェスティバルに参加される皆様の写真をJFA・地区サッカー協会にて使用する場合がありますので予めご了承ください。

■感染症対策の徹底におけるご理解とご協力について

体調不良または発熱している選手ご家族の方の来場はお控えください。

マスク着用については個人の主体的な選択を尊重し、個人の判断に委ねます。

【申込・問い合わせ】

ファミリーフットサル

フェスティバル

申込先

yfa.kumazawa@gmail.com

Mail

問い合わせ

090-2363-5121

地区協会
熊澤(くまざわ)



相手を思うこと、仲間を想うこと

「楽しい」はみんなで創るもの。

- ★みんなで過ごせる時間と空間に感謝しよう
- ★気持ちのイイあいさつはステキな笑顔を量産する
- ★相手がいるから楽しめることを理解しよう
- ★仲間のプレー 相手のプレーにも温かな拍手を贈ろう
- ★仲間や相手にかける言葉で楽しいが何倍にも膨らむ
- ★もっとやってみたい！そんな気持ちのお土産を持ち帰ろう